

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和4年5月24日(2022.5.24)

【公開番号】特開2021-65473(P2021-65473A)
【公開日】令和3年4月30日(2021.4.30)
【年通号数】公開・登録公報2021-020
【出願番号】特願2019-193866(P2019-193866)
【国際特許分類】
A 6 3 F 5/04(2006.01)
【F I】
A 6 3 F 5/04 6 6 1

10

【手続補正書】
【提出日】令和4年5月16日(2022.5.16)
【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

20

前扉と、
リールと、
ストップスイッチと、
所定のエラーを解除可能なリセットスイッチと、
MAXベットスイッチと、
内部抽選手段と、
ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知遊技状態と
を備え、
内部抽選手段は、内部抽選の結果として特定結果を決定可能であり、
内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第1操作態様でストップスイッチ
が操作された場合には、第1図柄組合せを停止可能であり、
内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第2操作態様でストップスイッチ
が操作された場合には、第2図柄組合せを停止可能であり、
第1図柄組合せが停止した場合には、所定数の遊技媒体を付与可能であり、
第2図柄組合せが停止した場合には、前記所定数よりも多い特定数の遊技媒体を付与可能
であり、
報知遊技状態でない所定の遊技状態であって内部抽選の結果が前記特定結果となった所定
の遊技において第1操作態様でストップスイッチが操作された場合の方が、当該所定の遊
技において第2操作態様でストップスイッチが操作された場合よりも、当該所定の遊技に
おいて所定の特典が付与される割合が高くなるよう構成されており、
特定の設定値（遊技者に最も不利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様
でストップスイッチを操作する第1遊技方法で、その他の遊技では第3遊技方法で所定回
数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をA（Aは数値）とし、
前記特定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作
する第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った
場合の出玉率の設計値をB（Bは数値）とし、
所定の設定値（遊技者に最も有利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様
でストップスイッチを操作する前記第1遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法

30

40

50

で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をC（Cは数値）とし、
前記所定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作する前記第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をD（Dは数値）とした場合、
A > B、且つ、C - A > D - Bとなるよう設計されており、
前扉が閉鎖しており、且つリセットスイッチが押下されている所定の状況ではMAXベットスイッチの操作が有効となっている
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0005】
本態様に係る遊技機は、
前扉と、
リールと、
ストップスイッチと、
所定のエラーを解除可能なリセットスイッチと、
MAXベットスイッチと、
内部抽選手段と、
ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知遊技状態と
を備え、
内部抽選手段は、内部抽選の結果として特定結果を決定可能であり、
内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第1操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第1図柄組合せを停止可能であり、
内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第2操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第2図柄組合せを停止可能であり、
第1図柄組合せが停止した場合には、所定数の遊技媒体を付与可能であり、
第2図柄組合せが停止した場合には、前記所定数よりも多い特定数の遊技媒体を付与可能であり、
報知遊技状態でない所定の遊技状態であって内部抽選の結果が前記特定結果となった所定の遊技において第1操作態様でストップスイッチが操作された場合の方が、当該所定の遊技において第2操作態様でストップスイッチが操作された場合よりも、当該所定の遊技において所定の特典が付与される割合が高くなるよう構成されており、
特定の設定値（遊技者に最も不利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様でストップスイッチを操作する第1遊技方法で、その他の遊技では第3遊技方法で所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をA（Aは数値）とし、
前記特定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作する第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をB（Bは数値）とし、
所定の設定値（遊技者に最も有利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様でストップスイッチを操作する前記第1遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をC（Cは数値）とし、
前記所定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作する前記第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をD（Dは数値）とした場合、
A > B、且つ、C - A > D - Bとなるよう設計されており、
前扉が閉鎖しており、且つリセットスイッチが押下されている所定の状況ではMAXベットスイッチの操作が有効となっている

10

20

30

40

50

ことを特徴とする遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

複数のリールと、

複数のストップスイッチと、

内部抽選手段と、

ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知手段と、

有利区間と

を備え、

内部抽選手段は、第1図柄組み合わせと当該第1図柄組み合わせよりも多くの遊技媒体の払い出しを伴う第2図柄組み合わせとのいずれかが停止可能な特定役を決定可能に構成されており、

報知手段は、有利区間における所定の状況下では、特定役が決定されている遊技であっても、ストップスイッチの操作態様の報知を実行しない

ことを特徴とする遊技機である。

10

20

30

40

50